

研究所 福島リサーチセンター内に最先端・環境配慮型の養牛研究施設を建設

ー温室効果ガス（GHG）低減と製品開発の加速で中期成長を牽引、2027 年 7 月稼働予定ー

当社は、養牛研究施設「いわきリサーチセンター」（福島県いわき市）を「福島リサーチセンター」（福島県田村郡小野町）内へ移転することを決定いたしました。2025 年 9 月に工事着手、2027 年 7 月に稼働開始予定です。搾乳・哺乳ロボットや自動給餌システム、国内初の多頭数メタン測定システム等の最新設備を導入し、環境負荷低減への取組み強化と製品開発力強化の両立を図ります。

1. 背景と狙い

- (1) 最新の顧客ニーズに沿った養牛用の高付加価値飼料（ロボット搾乳対応、環境負荷低減型）を主体に養牛飼料全般の開発促進。試験精度向上と研修機能強化で周辺技術を含めた開発のスピードアップを図ります。
- (2) 牛・豚・鶏の研究機能集約により、開発迅速化、営業研修の高度化、試験精度・再現性の向上を同時に実現します。
- (3) データ管理のクラウド化、省力化（自動化）、アニマルウェルフェア対応を徹底し、先進的な“魅せるコマース牧場”としての機能も担います。

2. 施設の概要

(1) 内容	養牛研究施設
(2) 建設地	福島県田村郡小野町（福島リサーチセンター 敷地内）
(3) 総投資額	10 億円超（建物・設備等、予備費を含む）
(4) 建設スケジュール	2025 年 9 月 着工 2027 年 5 月 引き渡し完了・試験運転開始 7 月 稼働開始予定
(5) 施設の特長	● 最新設備の導入（搾乳・哺乳ロボット、自動給餌システム及び管理システム、国内初の多頭数メタン測定システム等）。 ● 最新式の畜舎システム導入により試験数増加・試験開発のスピードアップを図る。 ● 研修拠点として全社人材育成も強化。

【本リリースへのお問合せ先】

フィード・ワン株式会社 管理本部総務部 Tel：045-211-6520

以上

FEED ONE が目指すサステナブルな畜産業

フィード・ワングループはサステナブルな畜産業の実現に向け、「使い続けたい商品」の開発と「頼りになる技術」の確立を目指し、これまで以上に研究開発を強化してまいります

試験精度の向上

最新の畜舎施設を導入することで、試験数の増加と精度の向上により製品開発のスピードアップを図ります

環境課題の解決

国内初の多頭数メタン測定システム等の最新設備を導入し、環境負荷低減への取り組み強化と製品開発力の強化を図ります

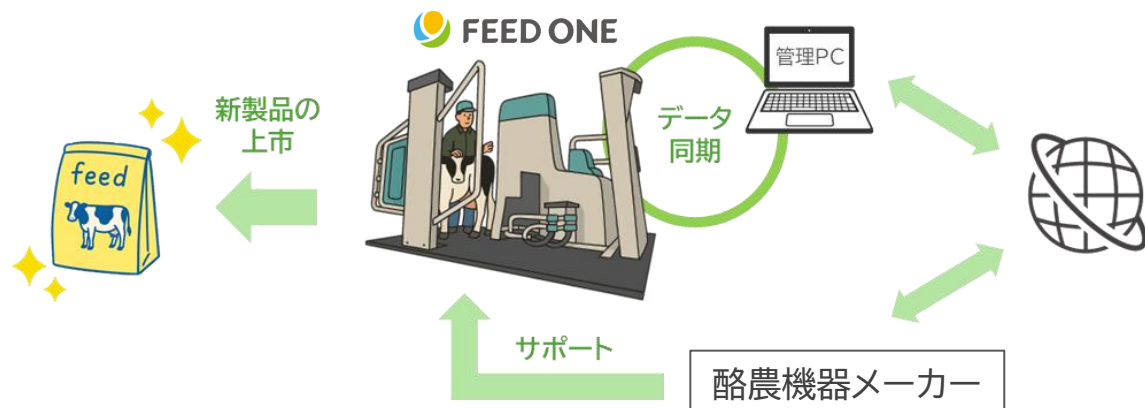
社会課題の解決

搾乳は人の手からロボットの時代へ。ロボット搾乳機を導入しニーズの先をいく先進的な専用飼料の開発します

データ管理のクラウド化で製品開発を加速



試験データをクラウドで管理することにより、試験効率やデータ分析の効率化を実現。多様化するニーズに応えた製品をいち早く上市していきます。



競争優位性を高め市場シェアを拡大



確かなデータに基づき上市された製品をマーケットに展開することで、競争優位性を高め、養牛飼料の販売数量を拡大し、マーケットシェアを伸ばしていきます。

乳牛用飼料

販売数量 : +20.8%

市場シェア : +3.7%

※2025.3期比

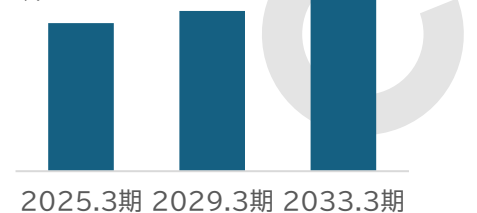


肉牛用飼料

販売数量 : +20.5%

市場シェア : +3.8%

※同左



※棒グラフは販売数量推移、円グラフが2033.3期のマーケットシェアを示しています